



2025.9.10 までオンラインにて開催中 <https://www.catv-f.com/>

東京有楽町国際フォーラムにおいて、7月24日～25日にケーブルコンベンション関連イベント「ケーブル技術ショー」が、(一社)日本CATV技術協会、(一社)日本ケーブルテレビ連盟、(一社)衛星放送協会の3団体共催により、開催された。

本展主催者の一般社団法人 日本CATV技術協会 理事長 中村 俊一氏は、以下のように主催者ホームページ上に述べた。

(以下原文のまま掲載)

「ケーブル技術ショー2025」では、全国各地の自治体で進められているデジタルトランスフォーメーション(DX)による地域防災、地方創生活動の事例、それを支えるケーブルテレビサービスのバックボーンであるIoT技術を活用した各種防災センサー、LPWA、ローカル5G、AI予測による防災・減災、危機管理対策(BCP)ソリューションの紹介、また、観光MaaS、地域交流MaaSによる地域の活性化ソリューションを紹介します。

技術展示会には97を超える事業者・団体にご出展をいただき、「トータルソリューション ZONE」「テクノロジー ZONE」「地域DX ZONE」の主要ゾーンに加え、分野や業種の垣根を越えて新たにケーブルテレビサービスへのビジネス展開をはかる事業者が出展する「トライアル ZONE」において、ケーブルテレビによる地域課題の解決の実現に向けた最新技術、ソリューション、サービス等の展示を行います。また、主催者テーマ展示コーナーでは、ケーブルテレビ事業者が自治体関係者と連携し、各地で実施している地域課題解決に向けた様々なサービス事例の紹介や、次世代技術への取り組みなどをご紹介します。技術セミナーやオープンステージでは、ケーブル業界の最新動向、最新技術、将来に向けた新たな調査研究の成果などを、また主催者

セミナーとしてケーブル事業者をパネリストに招いて、地域共創・地域DXに関する事例の紹介などをお伝えいたします。

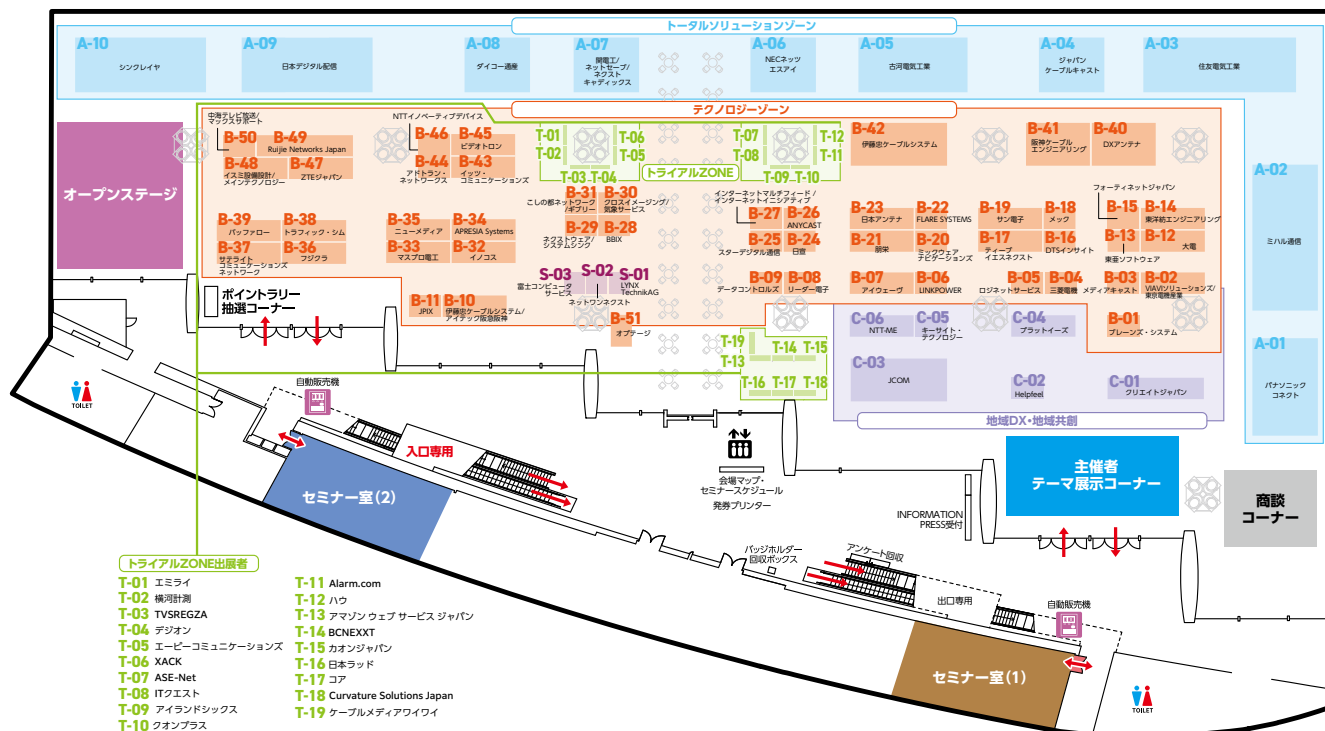
オンライン展示会では、生成AIが地域課題を解決する最適なソリューション、技術、製品、サービスに加え、課題解決策を持つ出展者をリコメンド、また「デジタル技術を活用した防災力」に関したプレミアムセミナーを配信するなど、来場効果を最大化いたします。

ケーブルテレビ業界は急速に変化する技術環境や視聴者のニーズに対応し、単なる放送メディアにとどまらず、インターネットや通信サービスとの融合を進め、より多様な視聴形態を提供することが求められています。

現在、私たちの国は「デジタル田園都市国家構想」を推進し、地方におけるデジタル化を進め、デジタルの恩恵を地域の皆さまに届けることで地域の活性化を図ることを目指しており、ケーブルテレビ業界には情報通信インフラの整備や地域のデジタル化を支える基盤としての重要な役割を果たすことが期待されています。

ケーブルテレビ事業者、放送事業者、施工事業者に加え、自治体、農林水産業関連、医療・福祉、観光、教育などの地域社会におけるステークホルダーの多くの皆様のご来場をいただいております。ケーブル技術ショーとして過去最多の来場者数であった昨年を上回るご来場を期待しているところです。

ケーブルテレビ業界を技術面からバックアップし、業界の発展に貢献する最新の技術やサービス、ソリューションを紹介する国内最大級の展示会である「ケーブル技術ショー2025」へ多くの皆様にご来場いただければ幸いです。



技術展示会 出展者一覧 (五十音順)

各出展者の出展概要は公式ウェブサイト内でご確認ください。

※2025年5月30日現在

ブースNo. 出展者名	ブースNo. 出展者名	ブースNo. 出展者名
B-07 アイウェーブ	T-17 コア	B-29 ネットウェア/システムシンク
T-08 ITクエスト	B-31 こしの都ネットワーク/ギブリー	S-02 ネットワンネクスト
T-09 アイランドシックス	T-06 XACK	T-12 ハウ
B-44 アドラン・ネットワークス	B-37 サテライトコミュニケーションズネットワーク	B-39 バッファロー
B-34 APRESIA Systems	B-19 サン電子	A-01 パナソニック コネクト
T-13 アマゾン ウェブ サービス ジャパン	C-03 JCOM	B-41 阪神ケーブルエンジニアリング
T-11 Alarm.com Incorporated	B-11 JPIX	T-14 BCNEXXT
B-48 イスミ設備設計/メインテクノロジー	A-04 ジャパンケーブルキャスト	B-28 BBIX
B-43 イッツ・コミュニケーションズ	A-10 シングレイヤ	B-45 ビデオトロン
B-42 伊藤忠ケーブルシステム	B-25 スターデジタル通信	B-15 フォーティネットジャパン
B-10 伊藤忠ケーブルシステム/アイテック阪急阪神	A-03 住友電気工業	B-36 フジクラ
B-32 イノコス	B-47 ZTEジャパン	S-03 富士コンピュータサービス
B-27 インターネットマルチフィード/インターネットイニシアティブ	A-08 ダイコー通産	C-04 プラットイーズ
B-02 VIAVIソリューションズ	B-12 大電	A-05 古河電気工業
T-07 ASE-Net	B-50 中海テレビ放送/マックスサポート	B-22 FLARE SYSTEMS
T-05 エーピーコミュニケーションズ	B-40 DXアンテナ	B-01 プレゼンズ・システム
B-26 ANYCAST	B-16 DTSインサイト	C-02 Helpfeel
A-06 NECネットエスアイ	B-17 ティーブイエスネクスト	B-21 朋栄
C-06 NTT-ME	T-03 TVS REGZA	B-33 マスプロ電工
B-46 NTTインノベティブデバイス	B-09 データコントロールズ	B-20 ミックウェア ナビゲーションズ
T-01 エミライ	T-04 デジオン	B-04 三菱電機
B-51 オプテージ	B-13 東亜ソフトウェア	A-02 ミハル通信
T-18 Curvature Solutions Japan	B-02 東京電機産業	B-18 メック
T-15 カオンジャパン	B-14 東洋紡エンジニアリング	B-03 メディアキャスト
A-07 関電工/ネットセーブ/ネクストキャディックス	B-38 トラフィック・シム	T-02 横河計測
C-05 キーサイト・テクノロジー	B-24 日宣	B-08 リーダー電子
T-10 クオンプラス	B-23 日本アンテナ	S-01 LYNX Technik AG
C-01 クリエイトジャパン	T-16 日本ラッド	B-06 LINKPOWER
B-30 クロスイメージング /気象サービス	A-09 日本デジタル配信	B-49 Ruijie Networks Japan
T-19 ケーブルメディアワイワイ	B-35 ニューメディア	B-05 ロジネットサービス

主催者テーマ展示

■ (一社) IPTV フォーラム

放送ターゲット広告とそのフェイク動画広告対策に関する最新技術。

欧州ではDVB-TA (TS103 752-1)、HbbTV-TA (ETSI TS103-736)、米国ではATSC3.0 DAI (A/344 A.2)といった放送ターゲット広告に関する技術規格が整備されている。また、ネットを中心に偽誤情報対策が注目される中、偽誤広告も社会課題とされている。そこで、IPTV フォーラムが策定したハイブリッドキャストの活用事例として、日本の放送方式 (ISDB) で放送の一斉同報性を生かしつつ、地域密着の広告提示を実現する放送ターゲット広告技術とフェイク広告対策技術を紹介。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900002&hp=0<ip=4>



■ (一社) IPTV フォーラム

誰一人取り残されない情報配信の実現に向けた取組紹介

「日常使いできるシステム」をコンセプトとした地域・防災情報配信サービスコンテンツを展示。Hybridcastを活用したサービ

スをはじめ、誰もが日常的に使いやすいコンテンツの紹介。

【展示機器】

・テレビを利用した自治体情報配信システム・防災 DX タブレット・あんしんライト

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=9000051&hp=0<ip=4>



■株式会社 JWAY

社員もお客様も迷わせない！ラクして満足 AI 対応

1) 利用者が入力したキーワードから回答にたどり着く流れをご案内。

利用者が知りたい内容を入力した際に、キーワードから意図を解釈し、関連する項目をサジェスト (提案) した。

これにより、これまで利用者が探し当てることに苦慮していた、本来知りたい情報や、局の関連サイトへ直接誘導される様子を紹介した。

2) 利用者のアクセス情報の分析

閲覧された情報の傾向や、入力されたキーワードの分析結果を紹介。

可視化されることにより、今後のさらなる

システムの利便性向上や局の顧客対応業務の改善のために利用できる。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=9000051&hp=0<ip=4>



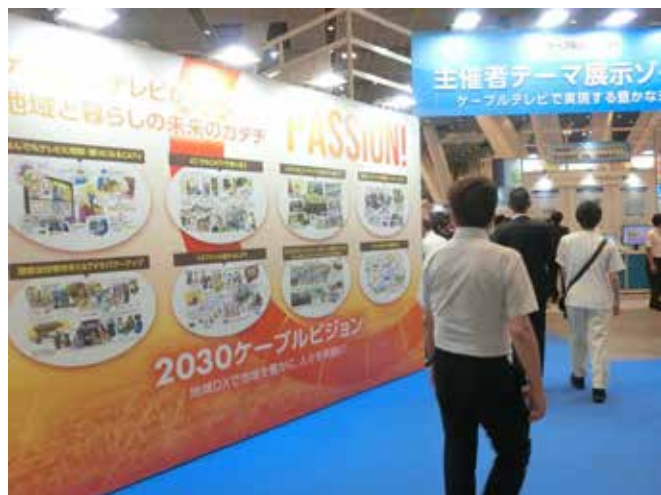
■ (一社) 日本ケーブルテレビ連盟

Connecting Regional DX with IoT

ケーブルテレビ事業者の地域IoT 取組事例と、正会員オペレータ限定で安価で早く、簡単に利用できる「IoT ダッシュボード」サービスを始めとする機器を紹介。地域 IoT は地域の放送・通信事業者であるケーブルテレビ事業者が、これからの地域社会において取り組むべき重要テーマの一つです。河川監視や雨量、道路の積雪状況、建物内のCO2 濃度など、地域における様々なデータの可視化ニーズが高まっており多くのケーブルテレビ事業者が取り組みを始めている。本ブースではユースケース毎に実績のある端末やセンサおよび可視化できる「IoT ダッシュボード」を紹介した。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900007&hp=0<ip=4>





■（一社）日本ケーブルテレビ連盟

無電柱化推進の活動について紹介。

日本ケーブルテレビ連盟の「地中化・共架WG」が取り組んでいる無電柱化推進の活動について紹介。

会場では、無電柱化の目的や実際の施工事例写真などを展示し、国土交通省が発行する各種手引き等も用意した。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900071&hp=0<p=4>



■ケーブルテレビ 株式会社

自治体のニーズを把握し防犯、脱炭素をサポートするソリューション展示

1. グループの地域新電力会社のホームタウンエナジー株式会社の事業を通じて「電力の地産地消」と「地域の脱炭素化」を目指す挑戦。栃木県栃木市、埼玉県久喜市との連携事業の紹介。
2. 群馬県千代田町における防犯カメラネットワーク事業。自社の光伝送路と地域BWAを利用し自治体が地域の安全・安心を守るお手伝いを実現。
3. 多くの自治体と包括連携協定を締結し、持続可能な地域づくりに主体的に取り組んでいる。また、地域DX交流会を通じて自治体間の横の連携を創出し、当社がハブとして価値をつなぐ役割を担っている。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900052&hp=0<p=4>



■東京ケーブルネットワーク 株式会社

2020年より取り組んでいるXR事業の地域防災向け提案。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900053&hp=0<p=4>



■となみ衛星通信テレビ(株) / (株)ティエスティテクノ

CATV DX：GWSと生成AIが切り拓くオペレーション革命

となみ衛星通信テレビ(株)での約10年間のGoogle Workspace（GWS）活用事例をもとに、ケーブルテレビ業界の未来を支える最新ソリューションを紹介。GWSの導入を起点とし、Gemini・NotebookLMなどの生成AIを活用した業務の効率化、GLSを活用した業務支援、視聴率データの可視化によるコミch分析、AIによるコールセンター対応やお客向けメールサービスの最適化など、オペレーションの効率化と顧客満足度の向上を実現する展示内容。未来のCATVの業務運営がここにある。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900054&hp=0<p=4>



■大分ケーブルテレコム(株)

GIGAスクールへの取組およびネットワークの一元管理

大分市におけるGIGAスクールについて。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900055&hp=0<p=4>



■(株)ハートネットワーク

ケーブルテレビ局が横展開で利用可能なIoTソリューション展示

避難所チェックインシステム/避難者の避難登録をシステム化することで、避難者の確認や避難情報集計を効率的に行い、避難

情報を円滑に共有することで、情報の錯綜や混乱を抑止し、現場職員負担を軽減することができるシステム。バスロケーションシステム「LACパス」/地域交通課題を解決するために愛媛大学等の協力で開発されたもので、誰もが路線バスを気軽に利用できるようスマートフォンやパソコン向けにバスの位置情報や時刻表などをリアルタイムで提供するサービスである。スマート陸上養殖/水温、pHなどを遠隔地から確認できるIoTを活用したスマート陸上養殖のパッケージ。その他、河川氾濫予測システム、駐車場満空検知システム、子ども見守りシステムと電動キックボードの紹介・展示も行った。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900056&hp=0<p=4>



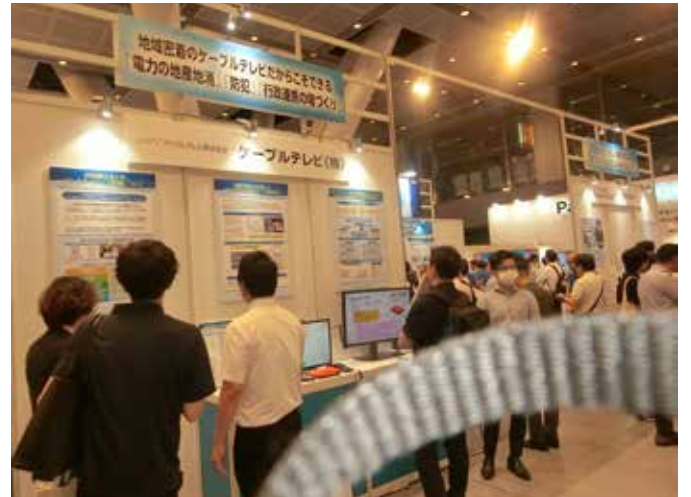
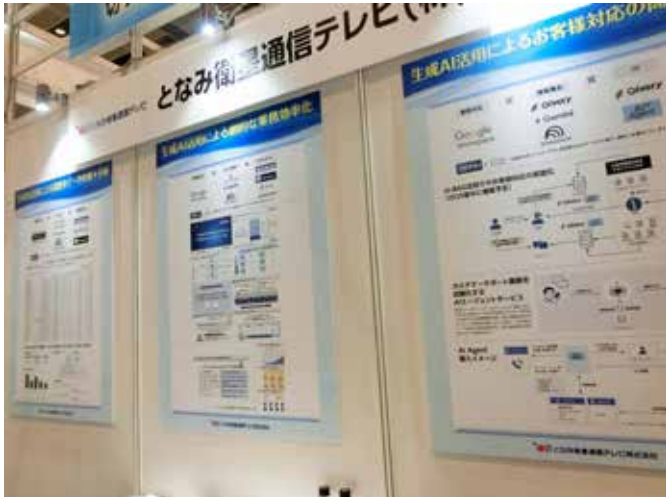
■知多メディアネットワーク(株)

指定管理事業にICTを導入し「公共施設のDX」を実現した事例

知多メディアネットワーク(株)（愛知・東海市）は知多半島の各市町と「地域DX推進協定」を締結するなど、地域DXのさまざまな取り組みを実施している。本展示ではその中から公共施設の指定管理事業に焦点を当てる。当社の指定管理事業は施設の管理運営だけでなく、ICTを導入することで公共施設の業務効率向上や集客を図ることに特徴がある。「公共施設のDX」を行う取り組みは、指定管理における「ケーブルテレビ事業者だから果たすことができる役割」です。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900057&hp=0<p=4>





■ (一社)日本ケーブルラボ

新方式！IP クローズドキャストの紹介（パターン⑥ B 方式）

国内外問わず放送離れが進む中で、如何に放送コンテンツに付加価値をつけてブロードバンドサービスのARPU 向上、加入者増に繋げられるかが課題となっている。日本ケーブルラボでは、ブロードバンド上で放送コンテンツを放送、配信するためのIP 化の方法を、7つの選択肢とそれを実現する4つのIP 化方式として特徴を整理した。今回はその選択肢の1つとして、実際に取組みされているCNCI のIP クローズドキャストについて紹介。これは、技術的にはIP ユニキャスト配信であるが、閉域網で提供されテレビのみで受信を可能とするもので、著作権法上、「放送」としての許諾を目指すものである。IP アプリでの受信であり、双方向サービスでの付加価値向上とコスト削減が期待される。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900041&hp=0<ip=4>



■ (一社)日本ケーブルラボ

デジタルヒューマン（AI アナウンサー）のデモ等

近未来ルームでの紹介事例として、急成長するデジタルヒューマン市場を見据えたAI アナウンサーのデモ展示と、原稿をその場で作りAI アナウンサーが読み上げるなど、コンテンツ制作への生成AI 活用ソリューションを紹介展示した。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900004&hp=0<ip=4>



■ (一社)日本ケーブルラボ

マルチベンダ相互接続の実現に向けて日本ケーブルラボでは、異なるベンダのEPON（Ethernet Passive Optical Network）機器を相互に接続可能なEPON 仕様書を策定している。本展示では、その実証の一環として、複数のベンダの10G-EPON 機器を使った相互接続の動態デモンストレーションを行った。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900042&hp=0<ip=4>



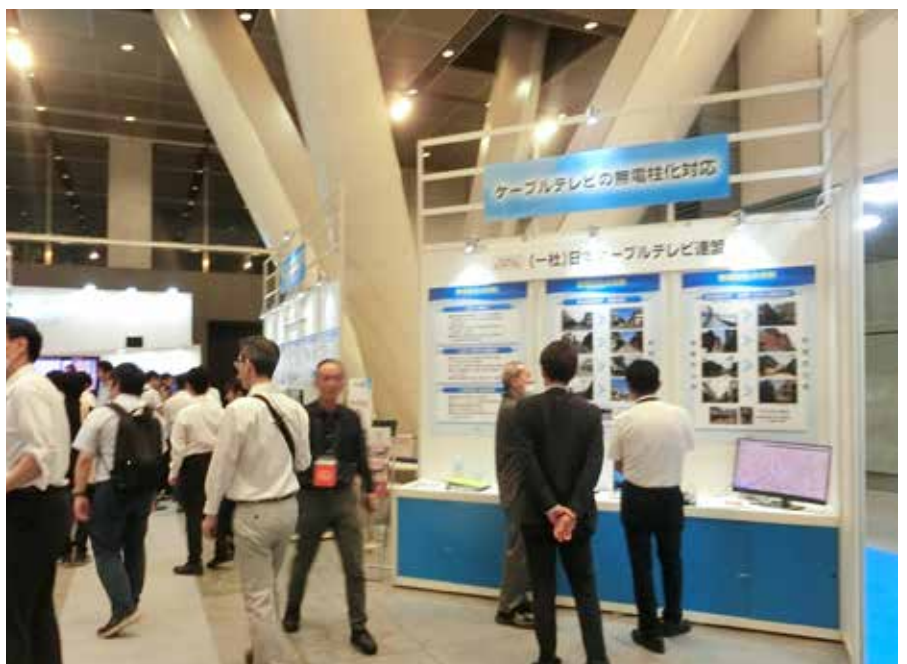
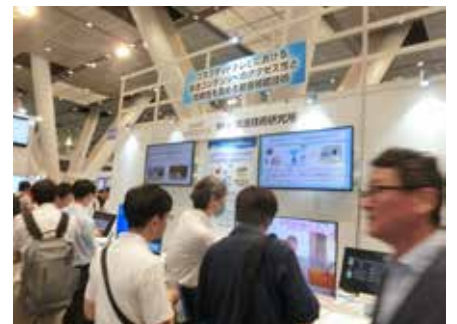
■ NHK 放送技術研究所

コネクテッドテレビにおける放送コンテンツへのアクセス性と信頼性を高める動画視聴技術

NHK 放送技術研究所では、放送とインターネットを活用し、すべての視聴者に信頼で

きるコンテンツを届ける「Web ベース放送メディア」の研究開発を進めている。本展では、コネクテッドテレビ向けの動画配信サービスの提供において、放送コンテンツへのアクセス性や信頼性の向上に寄与する技術を紹介した。

<https://www.catv-f.com/pg2025/exhibitor/online.php?id=900003&hp=0<ip=4>



(株) 朋 栄



NDI® 対応ポータブルビデオスイッチャー、アーカイブシステムなどを紹介。主な展示製品は、NDI 対応の1M/E ポータブルビデオスイッチャー「HVS-190S」やLTO-9 テープに対応するドライブを搭載したLTO サーバーの「LTS-90」、キャラクタージェネレーター「EzV-410」などである。

■ 3G/HD ポータブルビデオスイッチャー HVS-190S



コンパクトな筐体に多彩な機能を備えた、1M/E のポータブルビデオスイッチャー。遠隔地からのリモート制御が可能で、オプションのHVS-NIFを組み合わせることでNDI にも対応し、信頼性の高いSDI/IP 混在システムを構築することが可能。フレームシンクロナイザー、リサイズエンジン、2.5D ワイプエフェクト、DVE、クロマキーヤー、FLEXaKEY™などを搭載。また、オプション基板HVS-DNT¹⁾を搭載することで最大64 チャンネルのDante オーディオ入出力に対応。^{*} 1) 将来対応予定



■ LTO サーバー LTS-90/ 素材管理ソフトウェア LTS-MAM

最新のLTO-9 テープに対応するドライブを搭載したLTO サーバー。LTO-9 テープの最大記憶容量18TB(非圧縮時)は、LTO-8 テープ容量の1.5 倍。最大転送速度300MB/秒(2.4Gbps)でデータ保存が可能。オプションのLTS-MAM ソフトウェアを組み合わせ、単体で素材管理システムの構築が可能。外付ドライブLTO-EU8 を使用することにより、LTO-8/7 テープからのマイグレーションにも対応。

■ キャラクタージェネレーター EzV-410

1RU のラックマウント型筐体を採用。標準構成でHD 2 系統、または4K 1 系統のテロップ送出が可能。キャラクタージェネレーター。HD 送出をしながら、もう1 系統でプレビューを行うことも可能。上位機種VWS シリーズとのデータ完全互換を実現し、統合ソフトウェアTelopStation を標準搭載。今回の展示ではスコアボードのAI 検出を行い、EzV-410 によるテロップ作成・送出を実演。



多数の来場者の注目を浴びた朋栄ブース

■ イベントプレイヤー IEP-500 (株)アイ・ビー・イー)

映像・静止画・音声ファイルを再生するPC ベースのプレイヤー。スタジアム、イベント会場、オンラインセミナーや放送局などで「素早く、簡単に、誰でも」映像送出(3G/HD-SDI 1 出力)が可能。CM/番組素材の再生装置としての活用や、クイズ番組の出題などCATV 局での様々な用途に対応可能。

■ バーチャルスタジオ / リアルタイム CG システム VRCAM-Lite

3DCG の簡易送出を提供するソフトウェア VRCAM シリーズの中で、カメラ1 台とノートPC²⁾ による手軽なCG 運用を可能にする VRCAM Lite。バーチャル運用時に固定カメラでもカメラワークをしているかのような仮想カメラの演出や、テンプレートCG を活用したコンテンツ作成や送出制御といった様々な機能を、PC で簡単に操作可能。NDI 入出力、Web カメラ入力に対応し、バーチャル運用をローコストかつシンプルに行うことが可能。²⁾ 要求スペックはゲーミングノートPC が目安

ポータブルスイッチャー HVS-190S

コンパクトな筐体に多彩な機能。

HVS-NIFの組合せでNDI¹⁾にも対応^{*} (オプション)

- フレームシンクロナイザー、2.5Dワイプエフェクト、DVE、FLEXaKEY™などを搭載
- Webサーバーを内蔵し各種設定変更をPCやタブレット端末から可能に
- 最大64チャンネルのDanteオーディオ入出力に対応^{*}



簡易バーチャル VRCAM-Lite

NDI対応

- ノートPC 1 台でフルバーチャル / AR演出を実現可能
- CGライブラリ利用を基本としたコンテンツ制作で制作コスト削減
- 固定カメラでもカメラワークしているかのような仮想カメラ演出が可能



コンパクトな場所で
バーチャル設置可能!
ミニグリーンバックで実演!

¹⁾ 100Mbps対応。NDI 2.0/3.0/4.0/5.0/6.0/7.0/8.0/9.0/10.0/11.0/12.0/13.0/14.0/15.0/16.0/17.0/18.0/19.0/20.0/21.0/22.0/23.0/24.0/25.0/26.0/27.0/28.0/29.0/30.0/31.0/32.0/33.0/34.0/35.0/36.0/37.0/38.0/39.0/40.0/41.0/42.0/43.0/44.0/45.0/46.0/47.0/48.0/49.0/50.0/51.0/52.0/53.0/54.0/55.0/56.0/57.0/58.0/59.0/60.0/61.0/62.0/63.0/64.0/65.0/66.0/67.0/68.0/69.0/70.0/71.0/72.0/73.0/74.0/75.0/76.0/77.0/78.0/79.0/80.0/81.0/82.0/83.0/84.0/85.0/86.0/87.0/88.0/89.0/90.0/91.0/92.0/93.0/94.0/95.0/96.0/97.0/98.0/99.0/100.0

キャラクタージェネレーター EzV-410

標準構成でHD 2 系統、または4K 1 系統のテロップ送出が可能

- フルサイズの静止画キャプチャーが可能
- 統合ソフトウェア TelopStation を標準搭載し、VWS シリーズとのデータ完全互換を実現
- 各種 NLE との連携が可能^{*}
- 通常テロップ送出と同時に、別系統でスポーツコーダー^{*}の送出も可能
- 1920 x 1080 ピクセル以上の画面解像度にも対応^{*} (オプション)



AIスコアボード
スコアボードのAI検出を行い、EzV-410によるテロップ作成・送出を可能に



イベントプレイヤー IEP-500

「素早く、簡単に、誰でも」

映像・静止画・音声ファイルを再生するPCベースのプレイヤー

- 放送 (再生映像をここへ送る)
- 番組演出
- クイズ番組
- 配信
- イベント
- スタジアム



CM/番組素材の再生装置としての活用や、スタジオモニター向けにクイズ番組の出題など様々な用途に対応!

Ver1.3
まもなくリリース!

- ▶ スイッチャー連携によるワンオペ運用もサポート
- ▶ 外部タイムコード (LTC) 連携によるスケジュール演出!
- ▶ リスト再生チャールズ再生で放送時間外の情報提供など

移動用システムとして活用しやすい、ラックマウントモデル

IEP-500R

リーダー電子(株)



DX時代の進化に即したスムーズな測定を目指し、新しい電波測定器“LF995”を展示。地上波・ケーブル・衛星波・光伝搬の監視測定を簡単にできるこの革新的な装置は、業務効率化の大きな一歩となります。

さらに、測定データの効率的な管理・活用を支援するクラウドデータサービスLePorterや、今年2月に発売したNDI信号モニタリングアプリケーションNDI® Checkerも紹介した。

■フィールドデスター「LF995」



地上波、CATV、衛星デジタル放送に対応したRFフィールドデスターです。レベル、BER、MERの測定やコンスタレーション表示、映像・音声確認、光パワー測定が可能です。広帯域スペクトラム表示や自動測定機能に加え、GPSによる位置情報記録、Wi-FiやUSBインターフェースを備え、クラウドデータサービス「LePorter」との連携によりデータ管理や報告書作成を効率化します。2K/4K映像表示にも対応しています。

■クラウドデータサービス「LePorter」製品



LePorter (リポーター) は、LF995の測定データをクラウドへアップロードし、保存・管理、報告書を自動作成する革新的なサービスです。これにより、PCでのデータ集計・報告書作成時間を大幅に削減できます。また測定した位置・機材情報を付与し建物別に分類可能。ウェブアプリではExcel形式での報告書作成や地図へのアンテナ設置情報表示に対応しています。また最新版では、ログイン機能とチャンネルテーブル変換機能が追加されました。

■波形モニター「LV5600W」製品



SDI/IPに対応したLCD一体型波形モニターで、奥行き300mmの小型筐体です。WebRTCに対応し、PCブラウザからリアルタイムでの遠隔操作が可能です。また、オプション(SER23)により3D-LUTを適用し、色変換後の波形確認やSDI出力も行えます。現場のニーズに応える一台です。



注目の製品が紹介されたリーダー電子ブース

■NDI® Checker 製品



NDI® チェッカーは、Vizrt (旧NewTek) 社が開発したNDI® 対応機器やPC間のIP映像伝送環境で、NDI信号を簡単にモニタリングできるアプリケーションです。ネットワーク上のNDI信号を選択し、フォーマット、フレーム数、ビットレートを確認でき、イベントログの記録やダウンロードも可能です。

お問い合わせ : リーダー電子 本社営業部

Email : sales@leader.co.jp ▶

Tel : 045-541-2122



日本ラッド(株) <https://www.nippon-rad.co.jp/>

日本ラッド(株)は、IoT、AI、エンタープライズ、メディカル、BI、映像、セキュリティなどの多岐に亘るジャンルにおいて実績を挙げている会社であるが、この度の同展においては、SONYブロックを採用し、世界中で多くの販売実績がある、米国のBolinの屋外用PTZカメラのうち代表的な2機種を展示した。

■SD530Hは、IP67対応、30倍ズーム、STARVIS II搭載の高性能屋外用PTZカメラで、「過酷な環境でも、常に安定した映像を」を謳った文句としている。

画質の良いSONYブロックを採用した米国Bolin社製の屋外用PTZカメラで、IP67準拠の防



塵・防水性能で、雨や粉塵の中でも安心して稼働。30m/sの強風にも耐える堅牢な構造設計。-30℃～+60℃の広範囲な動作温度で、極寒地から真夏の現場まで対応。などの特長を持つほか、IPでの出力と同時にSDIやHDMIの同時出力が可能な製品である。

EXU248は、IP67対応、48倍ズーム、4K SONY Block内蔵の高性能PTZカメラで、IPとSDIでの同時出力、現場に合わせた柔軟な運用を実現している。

風荷重耐久性、30～60m/s、ヒーター、デフ



ロスター内蔵、動作温度範囲-40℃～+60℃。メカニカル光学式手ブレ補正機能を搭載。FPGAハードウェアFAST HEVC

コーデック。RTSP、RTMP、SRT、ONVIF、MPEG-TSなどの高品質、低遅延、低帯域幅のIPストリームを提供。FreeDプロトコル (Free Dimensional Video) 対応。Bolin PTZカメラが指定された物体や人物を追尾しながら、インテリジェントかつスムーズにパン、チルト、ズームを行うために必要なすべての軸データを提供します。

